

第2期大空町地域福祉実践計画概要版（H27年度からH31年度）

基本理念

『ともに支え合う あったか福祉のまちづくり』

～住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域をめざして～

目標1 とともに支え合う福祉意識の醸成

町民一人ひとりが支え合い、助け合いの心をより一層高め、福祉を理解し実践できるよう、福祉に関する啓発活動を推進します。

また、優しく思いやりのある心を育てる学習活動や地域住民の人が集う交流事業などを通じ、子どもから大人まで福祉に対する理解と意識の高揚に努めます。



地域福祉の普及

- （１）福祉意識の周知・啓発の推進・・・広報誌の発行等
- （２）福祉教育の推進・・・福祉に関する学びの場を提供
- （３）地域交流の推進・・・子どもから高齢者まで集える交流事業の実施
- （４）共生社会の推進・・・誰もが参加しやすい配慮した事業の実施

目標2 安心できる福祉サービス

福祉サービスのニーズの多様化に伴って、サービス利用の手続きも複雑となり、利用する人にとっては分かりづらい内容となっています。

このため、相談支援体制や福祉サービス情報の提供体制が安心して利用できるような仕組みづくりを推進します。また、創意工夫により地域における資源の有効活用に取り組み、サービス提供基盤の充実を図ります。



（１）相談支援体制の充実

- ①情報の提供・・・情報弱者に配慮した情報提供
- ②相談体制の充実・・・相談しやすい環境づくりを推進
- ③支援体制の充実・・・相談支援体制の基盤づくりを推進

（２）子育て支援サービスの充実

- ①子育て支援サービスの充実・・・子育てを支援する体制づくりを支援
- ②児童の健全育成・・・子どもの居場所づくりや健全育成の促進
- ③子育てしやすい環境づくり・・・地域全体での子育て支援体制を推進

（３）福祉サービスの充実

- ①必要とするサービスの把握・・・訪問活動による困りごとの把握と支援策の検討
- ②施設・在宅福祉サービスの充実・・・介護予防を重点とした在宅福祉サービスの推進
- ③社会資源の活用・・・既存の社会資源を活用したサービス提供の検討

(4) 社会参加と就労支援

- ①社会参加の促進・・・・・・・・・・誰もが社会との関わりがもてる環境づくりの促進
- ②就労支援の充実・・・・・・・・・・障がい者、高齢者の就労の場の確保

目標3 地域福祉の推進体制づくり

地域には、高齢や障がいによって支援を必要とする人、子育てや家族の介護などで悩んでいる人がおり、こうした課題を早期に発見し解決することが重要となっています。

地域で住民同士が交流を深め信頼し合い、緊急時や災害時など不測の事態が起きたとき、迅速に地域で解決できるよう、人材の育成やネットワークづくりに取り組みます。

(1) 災害時・緊急時の支援体制

- ①要援護者の把握・・・・・・・・・・災害時・緊急時に支援とする人の実態把握
- ②災害時の支援体制の構築・・・・・・・・・・地域で適切な援護ができる体制づくりの確立
- ③緊急時の連絡体制の確立・・・・・・・・・・自治会における安心カードの作成を促進・支援

(2) 人材の育成・確保

- ①ボランティアの育成・・・・・・・・・・地域福祉の担い手づくりと受け皿づくりの推進
- ②在宅での介護技術の普及・・・・・・・・・・在宅（地域）介護への理解を促進

(3) 地域福祉のネットワークづくり

- ①福祉関係団体・機関の連携・・・・・・・・・・福祉関係団体等と連携し、地域福祉を推進
- ②地域の見守り体制の充実・・・・・・・・・・地域での助け合いができる支援体制づくり
- ③地域・隣近所での支援の促進・・・・・・・・・・小地域での支え合いの仕組みづくり
- ④地域活動の拠点づくり・・・・・・・・・・既存施設の有効活用や拠点づくりの検討

目標4 安心して暮らせる環境づくり

町民が安心して生活するためには、健康でそれぞれの能力を活かし生きがいをもって活動ができ、快適な日常生活が営める環境が重要です。外出支援やバリアフリー化などを進め、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

(1) 外出・移動支援

- ①移動手段の確保・・・・・・・・・・福祉有償移送サービスの基盤強化
- ②交通費負担の軽減・・・・・・・・・・関係機関と連携し、経済的負担軽減の検討
- ③外出支援の充実・・・・・・・・・・社会参加への機会の観点から外出支援を検討

(2) 健康づくりの促進

- ①食生活改善の推進・・・・・・・・・・食生活に関する啓発活動の実施
- ②運動習慣の確保・・・・・・・・・・各種イベントでの普及・啓発
- ③地域医療の充実・・・・・・・・・・保健、医療、福祉サービスの連携強化

(3) 安全・安心な環境づくり

- ①やさしい環境づくり・・・・・・・・・・誰もが利用しやすい環境づくりの調査の実施
- ②生活環境の美化・・・・・・・・・・ゴミの減量化とリサイクル化への情報提供
- ③権利の擁護・・・・・・・・・・判断能力に不安を抱える方への支援の強化
- ④虐待の防止・・・・・・・・・・地域、関係者と協力し、予防と早期発見